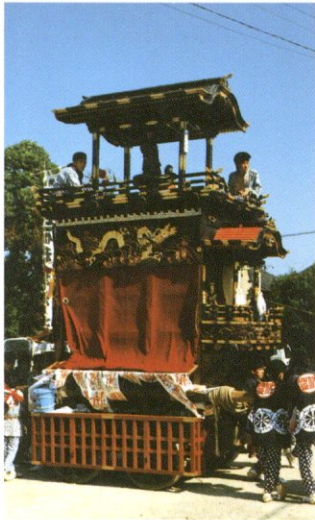


**45 常蓮寺** 大田町畑間

浄土宗のお寺で、明応2年(1493)の創建と伝えられています。寺に伝わる十六羅漢図(市指定絵画)は、近世に描かれたもので、十六幅が揃っています。また、涅槃図(市指定絵画)は幅約2m、長さ約2.4mあり、釈迦の入滅の場面が描かれています。



里組の山車



市場組の唐子人形

**46 大田町里組と市場組の山車蔵** 大田町東畑

大田児童館の南に里組と市場組の山車蔵が並んでいます。里組の山車(市指定有形民俗文化財)は、文化13年(1816)に改造されたもので、からくりは唐子が前に吊り下げられた額に文字を書きます。市場組の山車(市指定有形民俗文化財)は、寛政年間(1789~1801)の建造で、からくりは肩にとまった唐子が囃子にあわせて神楽鈴を振り鳴らします。ともに、大宮神社の祭礼に水引き幕をかけて引き出されます。

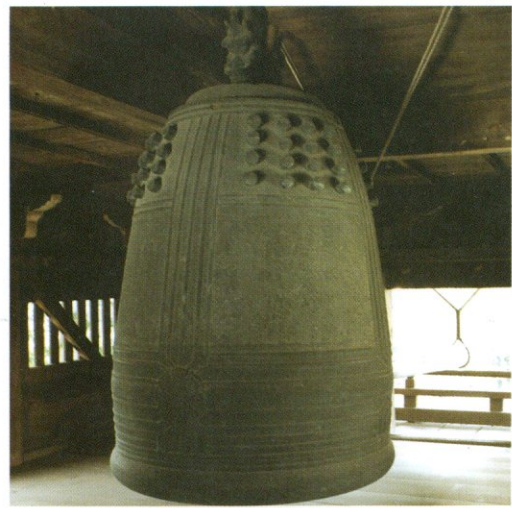
**47 毘沙門寺** 大田町的場

貞享4年(1687)に創建された西山浄土宗のお寺で、本尊の毘沙門天立像(市指定彫刻)は、藤原時代(平安時代中期・後期)の作で、京都の金蔵寺から伝承されました。



**48 可家の湊跡(御洲浜の池)** 高横須賀町御洲浜

名鉄太田川駅の南西に、池があります。この池は、万葉集巻十四の「東歌」に、「味鴨の可家の湊に入る潮のこてたすくも入りて寝まくも」(味鴨の群れ住む可家の湊に入る潮のように早く帰って妻の床に入って寝たいものだ)と歌われた「可家の湊」跡といわれています。この湊は、江戸時代のころには海と離れてしまって池になっており、尾張二代藩主徳川光友公が横須賀の地に別荘の臨江亭(横須賀御殿)を造営したときに、この池を巡る回遊式庭園の御洲浜が造られました。



梵鐘

**49 長源寺** 高横須賀町山屋敷

高德の傑僧である大中一介が、延徳4年(1492)に開山した、知多地方の名刹で、かつては末寺が13寺もありました。鐘楼門は、入母屋造り本瓦葺きで、18世紀前半頃の建立とみられます。この鐘楼門にある梵鐘(市指定工芸品)は、藩主光友の寄進で、延宝4年(1676)に治工水野太郎左衛門が造りました。このほかにも光友公の寄進した葵御紋附御刀架などがあります。



観福寺本堂内宮殿

**50 観福寺** 大田町天神下ノ上

大宝2年(702)に行基が知多三山を開山したうちの一山で、知多地方の古刹として国や県指定のものを含め、文化財が数多くあります。本尊の十一面観音菩薩立像(県指定文化財)は藤原時代の作で、脇侍の毘沙門天立像と不動明王立像(市指定彫刻)は室町時代の作です。本尊を安置する宮殿(国指定文化財)は、鎌倉時代の特徴をよくとどめる建造物として評価されています。本堂(県指定建造物)は、慶安年間(1648~1652)に再建され、寛文5年(1665)に補修されたものですが、平成4年(1992)と5年の二年をかけて大修理が行われました。本堂に架けられている鰐口(市指定工芸品)は、応仁元年(1467)に作られました。境内のツブラシイ(市指定天然記念物)は、根回りが6mもあります。このほか、市指定文化財の絵画の、毘沙門天図、不動明王図、愛染明王図、釈迦三尊図、釈迦十六善神図、北斗曼荼羅図、涅槃図、両界曼荼羅図、三千仏図など室町時代の仏画があります。